

芳藻

2023年5月発行
放送大学奈良学習センター
TEL 0742-20-7870
FAX 0742-20-7871

Contents

2022年度第2学期 卒業証書・学位記授与式 P1
2023年度第1学期 入学者の集い P1
謝辞 卒業生・修了生代表 P2
客員教授のご紹介 P3
新任客員教授のご挨拶 P5
学習相談日 P5
ゼミナール開催日程・テーマ等について《6月～9月》 P6
2023年度第1学期 通信指導について P7
2023年度第1学期 Web単位認定試験システム体験会について P7
2023年度第1学期 単位認定試験の実施について P8
Web単位認定試験システム利用方法<体験版> P9
学校図書館司書教諭講習について P10
卒業研究の履修申請について《教養学部 全科履修生》 P10
2023年度第2学期 科目登録について P11
各種手続き等について P12
視聴学習・図書室からのお知らせ P14
キャンパス・スケジュール（6月・7月・8月） P15

《通信指導の提出期間について》

Web：5月9日（火）～5月30日（火）17：00まで

郵送：5月16日（火）～5月30日（火）必着

※提出できなかった場合、単位認定試験の受験資格がなくなりますので、ご注意ください。

*** 奈良学習センター開所時間 ***

受付	曜日	利用時間
事務室(事務窓口)	火曜日～日曜日	9：30～12：00、13：00～18：00
視聴学習・図書室	火曜日～日曜日	9：30～17：30 (12時～13時の間、受付業務を中止させていただきます。)

《注意》 放送大学本部『新型コロナウイルス感染症対策』により、奈良学習センターの開所（時間）、面接授業、ゼミナールなど、変更の可能性がありますので、予めご了承ください。
詳細については、奈良学習センターウェブサイトに掲載しますので、必ずご確認ください。



2022年度 第2学期 卒業証書・学位記授与式

3月26日(日)11時より、2022年度第2学期の「卒業証書・学位記授与式」を放送大学奈良学習センター（奈良女子大学コラボレーションセンターZ308講義室）にて挙行いたしました。第2学期卒業生・修了生39人のうち19人が出席され、井上所長より卒業証書・学位記が授与されました。

その後、式辞に続き、来賓の中島客員教授、山本同窓会長より祝辞が述べられました。

2022年度第2学期 奈良学習センター卒業生・修了者数			
教養学部	卒業生数	教養学部	卒業生数
生活と福祉コース	6	人間と文化コース	6
心理と教育コース	12	情報コース	5
社会と産業コース	6	自然と環境コース	0
大学院			計
文化科学研究科文化科学専攻 修士課程	4		39

ご卒業・ご修了おめでとうございます



2023年度 第1学期 入学者の集い

3月26日(日)13時30分より、2023年度第1学期の「入学者の集い」を放送大学奈良学習センター（奈良女子大学コラボレーションセンターZ308講義室）にて挙行いたしました。井上所長の式辞に始まり、山本同窓会長の祝辞、4名の客員教員の挨拶に続いて、客員教授の紹介、オリエンテーション、サークル紹介などが行われました。

なお、2023年度第1学期の入学者数は、学部118人、大学院17人で、在学者数は、以下のとおりです。

2023年度第1学期 奈良学習センター在学者数					
教養学部	全科履修生	選科履修生	科目履修生	特別聴講学生	計
		590	130	64	59
大学院	博士全科生	修士全科生	修士選科生	修士科目生	計
	1	6	36	2	45



謝 辞

教養学部
社会と産業コース
上田 泰助

美しい春の花咲く日、私達39名の卒業生、修了生のため、このように卒業証書・学位記授与式を盛大に挙行頂きありがとうございます。又、卒業生、修了生を代表して謝辞を述べる機会をいただき感謝申し上げます。

先ほどは放送大学奈良学習センター所長 井上先生、放送大学客員教授 中島先生、奈良同窓会会長 山本様よりご祝辞を頂きありがとうございました。

本日卒業する35名と修了する4名は夫々学位記を手にする事で卒業及び修了を実感するとともにこれまでの道のりを懐かしく思い返されたことでしょう。

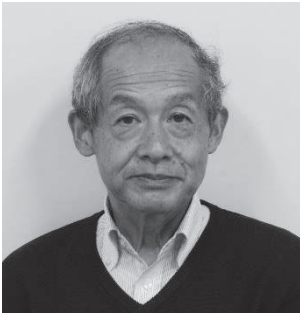
特に私は、学部6回、修士1回で20年という長い間ご指導を頂きました。入学の動機は「9歳のころ、本家の古文書が県の総合文化調査を受けた時、何が書いてあるか大人になったら読みたい」を実現させるための勉強入学でした。

古文書については代々当主が管理し、伯父が60歳ころから古文書に取り組みました。その後、伯父から従弟に代が変わり、私が退職となったころ従弟は、文化庁の援助を得て古文書調査を始めて3年が経っていました。(平成16年3月上田家文書調査報告書が完成し、その後古文書の縮小版ながら1万点あまりの複写版が町の歴史資料館に備え付けられ、閲覧することができました)上田家の古文書がこのような状況の中、平成15年4月私は放送大学に入学でき、人間の探究専攻で学び始めました。歴史科目や書誌学は古文書に直結するものでしたが他の科目はそうではありませんでした。しかし他の科目も人間の生きるための知識だけでなく心を豊かにするものであり、これらも古文書の読み解きに必要なことだと気づきました。卒業研究では上田家文書からおおよそ300年前に近隣の村間で起こった「山論」に取り組みました。そのゼミの仲間や先輩の勧めで修士へ進むことになりました。そのころ私の古文書に取り組む環境は、身近に1万点余の上田家文書のコピーがある状況でした。文化情報学プログラムで「村方騒動」に取り組みました。その後は指導の先生の修士ゼミに聴講生として参加し古文書研究を継続するとともに学部の残り5コースに取り組み、この度最後の社会と産業コースを卒業することができました。この間いろんなことがありました。発達障害や認知症について学んだことが役立ち、また、町の地域福祉計画策定に委員として関わった時も学んだことが活かされました。古文書から私は、家の栄枯盛衰を知り、人はいつでも一生懸命でなければならない、人のために汗をかかなければならないと先祖は言っているように感じました。今や人生百歳時代といわれています。私も百歳に向かって晴耕雨読を田畑山と古文書に置き換えて進みたいと思います。

最後になりましたが、長い間ありがとうございました、放送大学奈良学習センターが今後ますます発展されますよう、また所長はじめ諸先生方、職員並びに在校生の皆様方の御健康と御活躍をお祈り申し上げ卒業生・修了生代表の謝辞といたします。ありがとうございました。

客員教授のご紹介

※曜日順に掲載しています



中澤 隆 先生

専門 生物有機化学

相談日 火曜日 10:00~12:30

ゼミナール 第3火曜日 10:30~12:00

本ゼミナールでは、生命現象に関係するタンパク質を取り上げたいと思います。タンパク質はウイルスの主要な構成要素であると同時に、ウイルスに対抗する免疫抗体もタンパク質です。このように食物から病気の原因や治療に至るあらゆる点で身近にあるタンパク質について学びましょう。



菊崎 泰枝 先生

専門 食品化学

相談日 火曜日 13:30~16:00

ゼミナール 第4火曜日 14:00~15:30

食品に含まれる成分の化学構造と機能性について研究しています。ゼミナールでは、日本人の食生活の現状を調べる方法、自身の食生活を評価する方法、そして日本人の食生活の何が問題かを解説し、バランスのよい食事の設計について一緒に考えていきたいと思っています。



駒谷 昇一 先生

専門 教育学

相談日 水曜日 10:00~13:00

ゼミナール 第3水曜日 10:30~12:00

4月から客員教授を務めさせていただくことになりました。専門は、教育学、情報教育、ソフトウェア工学、情報システム学、プロジェクトマネジメントです。前半は教育学で、教育の設計や評価などを、後半はソフトウェア工学で、ソフトウェアの設計方法、品質保証の方法などをテーマに実施します。皆さんと一緒に学ぶのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。



生田 周二 先生

専門 教育学（社会教育）

相談日 水曜日 13:30~16:30

ゼミナール 第2水曜日 14:00~15:30

関心をもっているのは、子ども・若者の権利という視点から、子ども・若者支援の理論、方法、実践などについてです。ドイツの状況と比較しつつ検討しています。人権の歴史や子どもの権利条約とも関連づけながら考えていきたいと思っています。

客員教授のご紹介

※曜日順に掲載しています



市来 百合子 先生

専門 臨床心理学

相談日 木曜日 9:30~12:30

ゼミナール 第4木曜日 10:30~12:00

現代の学校における教育臨床的課題について考え、その対応としての子どものコミュニケーション=カウンセリングマインドの意義について考えていきたいと思っています。後半では非言語的な媒体（アート）を用いた心理的なケアについてご紹介します。



杉本 一樹 先生

専門 日本古代史学

相談日 木曜日 13:30~16:30

ゼミナール 第1木曜日 14:00~15:30

ゼミナールで扱う正倉院文書は、「日本古代史の重要史料である」。間違いではないけれど、そう言われると何とも堅苦しい。視点をずらしたり、裏から見たり、「近づく」ための工夫をしてみたい。



宮川 久美 先生

専門 国語学

相談日 金曜日 10:00~13:00

ゼミナール 第2金曜日 10:30~12:00

奈良時代の国語学が専門ですが、日本語の歴史、小中学校の国語教育、外国人に対する日本語教育にも興味を持っています。ゼミでは正倉院文書を読みますが、相談日にはどんな話でもOKです。是非気軽に訪ねてください。



岡本 彰夫 先生

専門 神道学

相談日 金曜日 13:30~16:30

ゼミナール 第4金曜日 14:00~15:30

日本人の伝承を中心に、祭礼や法会の中に隠されている未来への伝言等を色々な視点から読み解いて行きたいと思っています。

新任客員教授のご挨拶

駒谷 昇一 先生

4月に客員教授となりました駒谷(こまや)と申します。元はIT企業でシステムエンジニアやプロジェクトマネージャ、そして人事制度や人材育成戦略の立案等の仕事をしておりました。社会で役立つ実践的な学び、主体的な学びの場を学生に提供したい、と30年間思い続け、企業に勤めながら、週末に大学で授業を行ったり、教科書を書いたりしていました。2007～2010年に経団連の依頼で筑波大学の教授となり、また、2013年からは奈良女子大学の教授となり、チームで問題解決を行うPBL教育などを行っています。昨年、日本初となる女子大工学部を創設、所属し、そして4月に放送大学奈良学習センターの客員教授を拝命いたしました。今後は、産地学官連携による企業向けの実践的な教育や、大学における実務家教員の養成にも尽力したいと思っております。

さいごに、主体的に生きるとは、言い訳人生、他責人生を歩まないことです。指導する立場の人は細かく指示したり命令しないと部下は動かないと思っておりますが、それは指示待ち人間を育てることになります。細かく指示せず、褒めることで、自分で考えて行動できる人を育てることができます。この企業での経験を活かし、教育に携わっています。

学習相談日

職名	教員名	専門	出勤日	時間
所長	井上 容子	建築・住環境工学	事前に事務室へ予約のうえ、所長室へお越しください。	
客員教授	中澤 隆	生物有機化学	火曜日	10:00～12:30
客員教授	菊崎 泰枝	食品化学	火曜日	13:30～16:00
客員教授	駒谷 昇一	教育工学	水曜日	10:00～13:00
客員教授	生田 周二	教育学(社会教育)	水曜日	13:30～16:30
客員教授	市来 百合子	臨床心理学	木曜日	9:30～12:30
客員教授	杉本 一樹	日本古代史学	木曜日	13:30～16:30
客員教授	宮川 久美	国語学	金曜日	10:00～13:00
客員教授	岡本 彰夫	神道学	金曜日	13:30～16:30

実施方法：対面式で実施します。

対象者：放送大学の学生

※事前の相談申込は必要ありませんが、特に予約相談を希望される場合は事務室へご連絡ください。

※ゼミナール実施日は学習相談に応じられない場合がありますのでご了承ください。

ゼミナール開催日程・テーマ等について《6月～9月》

講師	専門	開催日等		テーマ
井上 容子 (所長)	建築・住環境工学	6/6(火)	10:30～12:00	照明(15) 光放射の応用1
		7/4(火)		照明(16) 光放射の応用2
		8/1(火)		照明(17) 関西の照明事例1
		9/5(火)		照明(18) 関西の照明事例2
中澤 隆 (客員教授)	生物有機化学	6/20(火)	10:30～12:00	タンパク質がもつ生命情報とその解読
		8/22(火)		生命現象に必要な触媒としてのタンパク質
		9/19(火)		タンパク質の形の観察方法
菊崎 泰枝 (客員教授)	食品化学	6/27(火)	14:00～15:30	食品成分表を使って栄養価計算をしてみよう
		8/29(火)		日本人の食生活の現状と問題点
		9/26(火)		野菜不足は何が問題か？
池原 健二 (元所長)	生命科学	6/7(水)	13:30～15:30	生命活動の源—遺伝子
		7/5(水)		原始地球と化学進化
		8/2(水)		生命誕生への第一歩
		9/6(水)		生命誕生への確かな歩み
生田 周二 (客員教授)	教育学 (社会教育)	6/14(水)	14:00～15:30	教育と福祉(3) 視点の違い：指導と支援
		8/9(水)		教育と福祉(4) 児童福祉と教育
		9/13(水)		教育と福祉(5) 子ども・若者支援と教育
駒谷 昇一 (客員教授)	教育工学	6/21(水)	10:30～12:00	教育の実施方法(プレゼンテーション方法など)
		8/23(水)		教育効果の定量的測定方法、PBL型授業の評価方法
		9/20(水)		コーチング的指導方法
杉本 一樹 (客員教授)	日本古代史学	6/1(木)	14:00～15:30	正倉院文書に近づく(21) 「もの」と文字—国家珍宝帳①
		8/10(木)		正倉院文書に近づく(22) 「もの」と文字—国家珍宝帳②
		9/7(木)		正倉院文書に近づく(23) 「もの」と文字—銘文あれこれ
市来 百合子 (客員教授)	臨床心理学	6/15(木)	10:30～12:00	学校における教育臨床的課題と支援 (3)
		8/24(木)		学校カウンセリング (1)
		9/28(木)		学校カウンセリング (2)
宮川 久美 (客員教授)	国語学	6/9(金)	10:30～12:00	正倉院文書を読む(26)—続修第46第2紙と第6紙
		8/4(金)		正倉院文書を読む(27)—下道主啓—続修49第10紙
		9/8(金)		正倉院文書を読む(28)—僧正美状—続修別集48第13紙
岡本 彰夫 (客員教授)	神道学	6/23(金)	14:00～15:30	神饌の世界
		8/18(金)		春日山の歴史と信仰
		9/22(金)		神楽について

毎月10回(単位認定試験のある月は2回)、所長・客員教授らによるゼミナールを奈良学習センターにおいて開いています。

実施内容は、毎月15日頃に翌月のものを奈良学習センターウェブサイトおよび掲示板にてお知らせします。

ゼミナールに参加を希望される方は、必ず受講申込期間(ウェブサイト掲載後～実施日3営業日前)に事務室窓口へお申し込みください。電話・FAXでも可能です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施方法の変更・または、中止になる場合があります。講師の都合により変更になる場合もあります。必ずウェブサイト・掲示板をご確認ください。

2023年度 第1学期 通信指導について

提出方法 → Web



<提出期限>

5月9日(火) 10:00 ~ 5月30日(火) 17:00

※システムWAKABAの「Web通信指導」を選択し、解答を提出する。
提出後は、Web通信指導のトップページ画面の各科目の欄内に
「提出済(送信済)」と表示されます。

Web通信指導で解答を提出
(送信)した場合は、郵送での
提出は不要です。
提出しても無効となります。

提出方法 → 郵送



<提出期限> 5月16日(火) ~ 5月30日(火) 必着

※問題冊子表紙裏の「提出の方法」にしたがって送付してください。

《 注意 》

通信指導を期限内に提出し
合格しないと、単位認定
試験を受験できません!

《通信指導の添削結果》

6月末~7月上旬に返送されます。

以下の未着照会時期までに添削結果が届かない場合は、大学本部総合受付に連絡してください。

択一式科目：7月10日(月)

(Tel 043-276-5111)

記述式科目：7月12日(水)

《通信指導の合否結果》

添削結果と同時期に送付される「単位認定試験通知(受験票)」によって通知されます。

受験票で履修科目の受験資格を確認してください。未提出または、不合格の場合は受験できません。

※「単位認定試験通知(受験票)」は、添削結果より前に届くことがあります。

2023年度 第1学期 Web単位認定試験システム体験会について

2023年度第1学期単位認定試験については、Web受験方式(一部科目については郵送受験方式)にて実施するのに伴い、実際の実験の際にスムーズに操作できるよう、試験期間前までに、必ずWeb単位認定試験体験版を操作しておく必要があります。この体験会は、パソコン操作が不安または、困難な方を対象に奈良学習センターにおいて体験版の操作を行っていただき、操作方法を習得していただくために開催するものです。なお、受験当日のサポート等はできませんので、パソコン操作に不安のある方はご予約の上、必ずご参加ください。枠に限りがございますので、お一人様1回の参加でお願いします。

体験会の所要時間は、お一人20分程度で受付順に時間の指定をしています。

予約申し込みは、6月1日(木)から奈良学習センター事務室窓口もしくは、電話でお願いします。

(電話：0742-20-7870)

※体験会の予定開始時間になりましたら操作説明を開始しますので、予約された日時・会場へ時間厳守でお越しください。

開催日	時間	会場	締切日
6月15日(木)	14:00~16:00	視聴学習・図書室	6月11日(日)
6月16日(金)			6月13日(火)
7月8日(土)			7月5日(水)
7月9日(日)			7月6日(木)

2023年度 第1学期 単位認定試験の実施について

2023年度第1学期単位認定試験についても、引き続きWeb受験方式（一部科目※について郵便受験方式）にて実施します。詳細については、単位認定試験実施日までに大学本部から郵送される資料、またはウェブサイトでご確認ください。

試験日程

Web受験方式（提出期間）：2023年7月15日(土)9:00～7月25日(火)17:00

郵送受験方式（提出期間）：2023年7月15日(土)～7月25日(火)《必着》〈一部科目〉

実施方法

Web受験方式

- * 自宅等から、インターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。
- * 1科目50分の制限時間があります。（一時停止不可、1回のみ受験可能）
- * 科目ごとに「**択一式**」「**記述式**」「**択一式と記述式の併用式**」のいずれかの形式で出題されます。
 - ◆ 択一式問題 ⇒ **選択肢をクリック**することで解答します。
 - ◆ 記述式問題 ⇒ **解答記入欄に文字入力**することで解答します。

重要! Web単位認定試験体験版について(2023年4月3日(月)10:00～試験期間前)

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、2023年度第1学期単位認定試験期間前までに必ず体験版の操作を行ってください。

郵送受験方式

- ※「正多面体と素数(21)」「日本美術史の近代とその外部(18)」「量子化学(19)」「併用式」のみ
- * 7月上旬ごろ大学本部から送られる**問題用紙・解答用紙・提出用封筒**を用いて、**郵送**で解答を提出します。
- * **試験時間の制限は行いません。**
- * 出題形式は「記述式」または「併用式」です。

⚠ 自宅等でのWeb受験が困難な方へ【要申請】 ⚠

「Web受験方式」の科目について、ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等のご事情により、自宅等でのWeb受験が困難な方は、下記の方法により申請を行うことで、単位認定試験を学習センター等で受験することができます。

ただし、「Web受験方式」の科目を学習センター等で受験する場合、以下のことにご注意ください。

- * 「Web受験方式」の科目を学習センター等で受験する場合、原則は「授業科目案内」及びシステムWAKABAに記載の試験日・時限での受験ですが、受験日時の調整を行わせていただくことがありますのでご協力をお願いします。
- * 学習センター等で受験する場合でも、「試験問題の閲覧」及び「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます。サポート等はできません。
- * 「郵送受験方式」の科目については、パソコン等は使用しないため、学習センターでの単位認定試験は実施しません。試験に関する書類は本部から郵送されます。システムWAKABAに登録いただいている住所が誤っている場合、郵便物の未着や遅延が発生しますので、登録住所に誤りや変更がないか、事前にご確認いただきますようお願いいたします。

申請期間 4月1日(土)～5月24日(水)《本部必着》
申請様式 学習センター受験申請書（第1学期の印刷教材等に同封）
申請宛先 〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11
放送大学 学務部学生課 単位認定試験係

Web単位認定試験システム利用方法<体験版>

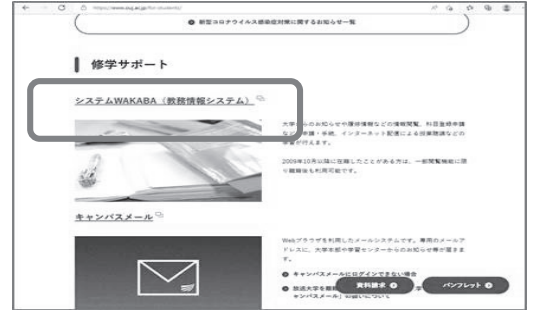
Let's try

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、2023年度第1学期単位認定試験期間前までに必ず体験版の操作を行ってください。



放送大学TOPページ

在学生 (WAKABA) をクリック



《ログインID》

ご自身の学生番号 (ハイフンを除いた10桁の数字)

《パスワード》 *入学時は、生年月日の8桁

ID・パスワードは半角で!

パスワードは必ず変更してください。

パスワードを忘れた場合や初期パスワードから一定期間たっても変更されていない学生の方は、ロックアウトされ、システムにログインできません。再入学の学生であっても、過去にパスワード変更を行っていないと、ログインできない場合があります。

その際には、下記問い合わせ先までご連絡ください。

*学生サポートセンター (電話: 043-276-5111)

Web単位認定試験<体験版> 操作のながれ

① 科目選択

- * 「科目一覧」から「Web単位認定試験体験版」をクリック。
- * 「私を受講登録する」をクリック (初回のみ)。

② 受験開始

- * 「単位認定試験(練習用)」から「択一式」「記述式」「併用式」を選択します。受験予定の科目と同じ出題形式のものを選んで練習してください。
- * 注意事項を確認のうえ、「問題を受験する」をクリック。
- * 受験を開始すると制限時間タイマーのカウントダウンが始まり、受験を中段しても止まりません。

③ 解答作成

- * 「択一式」…問題文の下に解答選択肢が表示されています。正解だと思う選択肢をクリック。
- * 「記述式」…問題文の下に解答入力欄が表示されています。文字入力により解答を作成します。

④ 保存・確認

- * 解答の作成が終わったら、受験画面の最下部にある「保存して次へ」をクリックして解答内容を保存し、確認画面で解答状況を確認します。
- * 解答を修正する場合は、「受験に戻る」をクリックして受験画面に戻ります。

⑤ 解答提出

- * 「すべての解答を送信して終了する」をクリックして、解答を提出します。
- * 受験直前の画面に戻り、「あなたの前回の受験概要」に「送信完了」と送信日時が表示されていれば、提出完了です。
- * 体験版は何度でも解答を提出できますが、本番の単位認定試験は一度しか提出できませんので、ご注意ください。

学内リンク

- Web通信指導
- Web単位認定試験**
- オンライン授業
- 放送授業のインターネット配信
- 過去の単位認定試験問題・解答等

詳細な操作方法は Web単位認定試験体験版画面左側リンク集 ◎操作ガイド (必読) ・よくある質問を確認してください。

学校図書館司書教諭講習について

出願・科目 登録期間

2023年5月1日（月）～5月31日（水）《私書箱必着》
※「学校図書館司書教諭講習実施要項」を請求し、出願してください。
締切日が近づいておりますので、お早めに登録してください。
※インターネットによる申請は受け付けておりません。

通信指導 提出期間

2023年8月2日（水）～8月16日（水）《大学本部必着》
※通信指導未提出または不合格の場合には、単位認定試験課題は評価されません。

単位認定 試験課題 提出期限

2023年9月29日（金）～10月6日（金）《大学本部必着》
※通信指導に合格した方は、期限までに提出してください。
提出期限を過ぎて到着したものは受理できません。

放送日

BSテレビ・BSラジオ
2023年7月20日（木）～8月3日（木）
〈再放送〉7月21日（金）～8月4日（金）
※インターネット配信での視聴も可能です。



卒業研究の履修申請について《教養学部 全科履修生》

卒業研究を履修するためには

履修する前年度に、卒業研究申請書の審査により履修が認められることが必要です。
（卒業研究は全科履修生の選択科目であり、必須科目ではありません。）

履修申請の条件

- ①全科履修生として在学（休学期間を除く）した期間が、2年（2年次編入者は1年）以上必要です。
（3年次編入学者は、2年在学したものとみなします。）
- ②修得単位は、申請する学期開始時に修得単位数の合計（入学時に認定された既修得単位数を含む）が、62単位以上必要です。

※特例として、申請する学期末に条件を満たすか、または見込みで申請することができます。

特例者

- *2021年度第2学期に1年次入学者
- *2022年度第2学期に2年次編入者

申請書提出期限

2024年度卒業研究履修申請書提出期限

2023年8月10日（木）～8月17日（木）《大学本部必着》

※詳しくは、学習センターで配布する「卒業研究履修の手引き」（2023年6月上旬配布予定）をご確認ください。

2023年度 第2学期 科目登録について

2023年9月末日で学籍が切れる方

大学本部より送付される「継続入学用出願票」、またはシステムWAKABAより、出願・科目登録の手続きを行ってください。

出願期間

- *第1回募集 2023年 6月10日(土)
~ 2023年 8月31日(木)
- *第2回募集 2023年 9月 1日(金)
~ 2023年 9月12日(火)

※面接授業の科目登録も併せて出願される場合は、右欄の科目登録申請期間中に、システムWAKABA⇒教務情報⇒継続入学申請 から同時に申請してください。

2023年10月以降も学籍が続く方

大学本部より送付される「科目登録申請票」により、次学期に履修しようとする授業科目を申請してください。

提出期間

- *2023年 8月15日(火)
~ 8月30日(水) 〈私書箱必着〉
- *インターネット申請(システムWAKABA)は
2023年 8月15日(火) 9:00
~ 8月31日(木) 24:00



※詳細は科目登録申請要項でご確認ください。

 「継続入学用出願票」と「科目登録申請票」は提出期間が異なりますのでご注意ください。

次学期以降在籍期間のある方で、単位認定試験の結果 卒業見込の方

成績判定発表後、円滑に手続きができるよう、下記の2つの方法について確認しておいてください。

① 卒業とならない場合に備えての科目登録

卒業とならない場合に備えて次学期の科目登録を行う場合は、本学から送付する「科目登録申請票」により所定の期間内に申請してください。
再試験のみ受験される方は、科目登録は必要ありません。

② 卒業となった場合の再入学のための出願

大学本部より「再入学案内文書」が送付されますのでお読みいただき、再入学を希望される方は、同封されている申請書で期間内に出願してください。
※卒業となった場合の再入学は、自動的に3年次編入となります。

 両方提出した方は、該当するほうのみが有効となります。

除籍について 〈教養学部 全科履修生〉

次のいずれかの事由に該当するときは、自動的に除籍となりますのでご注意ください。

①在学年限を超えたとき。

②休学期間を除き、学費納入がない期間が4学期続くととき。

※詳細については、修業年限及び在学年限(学生生活の葉48ページ)を参照してください。

ご不明な点やご質問等ございましたら、事務室までお問合せください。

各種手続き等について

◆ 学生証の手続きについて

(※参照 『学生生活の葉』 学部P18～19、大学院P24～28)

学生証は、顔写真をシステムWAKABAに登録した上で、所属学習センターで発行いたします。まだシステムWAKABAに顔写真の登録手続きを行っていない方は、6ヶ月以内の撮影で、前向き、上半身、無帽の写真(30×24mm 写真の裏面にボールペンで氏名、学生番号を記載)を科目登録申請時に添付された写真票台紙またはシステムWAKABAからダウンロードした写真票台紙に貼付してお早めに本部学生課に提出していただくか、システムWAKABAから直接顔写真の登録をお願いします。また、紛失、盗難等により学生証を失った場合、汚損等により使用不能となった場合および氏名の変更があった場合には、速やかに所定の再発行の手続きを行ってください。

◆ 学割証発行について

(※参照 『学生生活の葉』 学部P122～124、大学院P115～116)

旅客運賃の割引制度は、修学上の経済的な負担を軽減し、学校教育の振興に寄与するために設けられている制度です。全科履修生・修士全科生・博士全科生の方は、自宅から学習センターに通学する場合等に、近鉄とJRの学生旅客運賃割引(学割)を利用することができます。(奈良交通バスは利用不可) JRは、片道100kmを超える場合の普通乗車券および片道区間200km以内の一般普通回数乗車券を2割引で購入できます。

※ただし、普通乗車券の学割発行には、面接授業決定通知書等の確認書類の写しが必要です。

◆ 各種証明書の発行について

(※参照 『学生生活の葉』 学部P97～99、大学院P92～94)

在学証明書、成績・単位修得証明書等の交付は事務室窓口で行っています。学生証が必要ですので携行してください。証明書の種類によっては2週間程度かかるものもありますので、ご注意ください。証明書の発行手数料は1通につき200円です。

◆ 住所変更について

(※参照 『学生生活の葉』 学部P84、大学院P81)

現住所および連絡先電話番号に変更があったときは、直ちに「住所等変更届」(『学生生活の葉』巻末 学部生：様式4、大学院生：様式3)を下記の宛先まで提出してください。またシステムWAKABAから変更することも出来ます。あわせて郵便局へ「転居届」を提出してください。

※市町村の合併により市町村名が変更した場合にも提出してください。

◆学部生：奈良学習センター

◆修士全科生・博士全科生：大学本部 教務課 大学院研究指導係

◆修士選科生・修士科目生：大学本部 学生課 入学・履修係

※必要に応じて「所属学習センター変更願」(学部P86、大学院P80、84)の手続きも行ってください。

◆ 奈良学習センター駐車場について

奈良学習センターに駐車場はありません。また、奈良女子大学敷地内は、放送大学の学生は**駐車禁止**です。※来所の際は、公共交通機関をご利用ください。

◆ 学習センターの交流スペースの利用について

交流スペースの利用時間は、9時30分から17時50分までです。(ただし、面接授業を受講される方は、当日朝9時30分前でも利用可とします。)自習や長時間の利用は禁止です。自習は視聴学習・図書室で行ってください。食事ができる時間は15時までです。奈良学習センターの閉所日は利用禁止です。

オープンキャンパスのお知らせ

放送大学奈良学習センターでは、8月後半に下記のとおりでオープンキャンパスを実施する予定です。皆様のご家族、ご親戚、ご近所やお知り合いの方で放送大学に興味のある方がおられましたら、是非、オープンキャンパスへの参加をお勧めくださいますようお願いいたします。

日時：2023年 8月 後半 13:30～15:30

場所：放送大学 奈良学習センターZ308講義室

※開催日については決定次第、奈良学習センターのウェブサイトでお知らせします。



他大学等図書館利用カードの受取について

3月26日（日）～4月9日（日）の間に、奈良女子大学学術情報センター・奈良教育大学・奈良佐保短期大学の附属図書館の利用申請をされた方は、『利用カード』が5月末（予定）に出来上がりますので、受取に来てください。出来上がりの日程は奈良学習センターの掲示板およびウェブサイトでお知らせします。2023年9月30日（土）までに受け取りのない場合、『利用カード』は破棄させていただきますので、ご注意ください。

次回の申請期間は9月24日（日）～10月8日（日）を予定しています。

新型コロナウイルス感染症対策により、利用が制限されている場合がありますので、各大学等のホームページ等をご確認の上、ご利用ください。

2023年度学生研修旅行について

2020年度～2022年度の間、中止となりました学生研修旅行について、新型コロナウイルス感染者の状況や放送大学本部の学生支援状況にもよりますが可能であれば実施したいと思います。

行き先：現在、計画中です。

日程：2023年秋頃（日時未定）

注意

新型コロナウイルス感染者の状況や放送大学本部の学生研修旅行についての実施方針、学生支援状況により中止となる場合があります。

視聴学習・図書室からのお知らせ



視聴学習・図書室の利用について

- ・袋物（カバン等）の持込みを禁止していますので、入室の際はロッカーを使用し、入口横にあるビニールバッグを貴重品・筆記用具入れとしてご利用ください。貴重品は必ず身につけてください。携帯電話は、必ずマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。ビニールバッグは使用后、元の場所へ返却してください。
- ・受付カウンターに学生証を預けてから、指定された席をご利用ください。※全席指定
- ・飲食物の持込みは、ご遠慮ください。※飲食は交流スペースにてお願いします。



利用時間について

- ・4月1日より利用時間が下記のとおり変更になりました。
- ・放送教材の視聴、図書の貸出・返却等すべての手続きを利用時間終了**10分前**まで終えてください。

受付	曜日	利用時間
通常期間	火曜日～日曜日	9:30～ <u>17:30</u> (12時～13時の間、受付業務を中止させていただきます。)

※放送大学本部『新型コロナウイルス感染症対策』により、利用時間等について変更する場合があります。



放送大学附属図書館所蔵図書の貸出について

OPAC蔵書検索システムから本部図書の取寄せ、貸出ができます。

なお、奈良学習センター所蔵図書の貸出はしておりませんが、図書室内での閲覧は可能です。

貸出数	学部		10冊以内
	大学院	修士	20冊以内
博士		30冊以内	
貸出期間			31日間



※放送大学本部『新型コロナウイルス感染症対策』により、図書の貸出ができない場合があります。

単位認定試験に伴う視聴学習・図書室の閉室のお知らせ

注意

2023年度第1学期 単位認定試験のため、視聴学習・図書室を閉室します。

7月15日(土)～7月25日(火) 終日

※事務室は通常どおり開いています。

キャンパス・スケジュール

閉所日

面接授業

視聴学習・図書室閉室



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10日(土)
2023年度第2学期
第1回出願受付開始 8/31(木)まで
※第2回出願受付 9/1(金)～9/12(火)



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1日(土) 創立記念日
15日(土)～25日(火)
大学院・教養学部 WEB単位認定試験(自宅受験)
17日(月) 海の日

単位認定試験期間中、視聴学習・図書室は閉室します。



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2日(水)～16日(水) 必着
通信指導提出期限(学校図書館司書教諭)
11日(金) 山の日(閉所日)
12日(土)～17日(木)
夏季臨時閉所日
10日(木)～17日(木) 必着
2024年度卒業研究履修申請
15日(火)
第2学期 科目登録申請受付
WEB:～8/31(木) 24時
郵送:～8/30(水)(私書箱必着)

機関誌「芳藻」の由来

センター機関誌「芳藻」の名称は、奈良にふさわしいものとして、万葉集から選んだものです。
「芳藻」は、万葉集巻五に「跪きて封函を開き拝みて芳藻を読む」とあります。遙か離れた故郷からの便りをありがたく拝んで読んでいたことを述べており、芳藻は便りを表しています。
放送大学の「ほうそう」にも通じており、センターと学生を結ぶ絆としての役目も果たしてくれるものとして、名付けられたものであります。